

[資 料]

後発医薬品使用金額ベースにおける医療費抑制の検討

Monetary-based Review of Medical Cost Containment
by Promoting the Use of Generic Drugs橋爪 敦弘^{*a}, 梶間 溪介^a, 細川 修平^bATUHIRO HASHIDUME^{*a}, KEISUKE KAJIMA^a, SHUHEI HOSOKAWA^b^a 株式会社日本医薬総合研究所^b 一般社団法人日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会事務局〔 Received September 13, 2023
Accepted January 19, 2024 〕

Summary : In this study we analyzed the monetary effect of the usage rate of generic drugs (GDs) in the Tokyo metropolitan area, in view of the national government's goals of promoting the use of GDs. The FY 2020 data indicated a national average GD usage rate of 78.2% in volume terms, but as low as 48.7% in monetary terms, suggesting room for medical cost containment. Hospitals in Tokyo in particular tended to show a low GD usage rate in monetary terms, which was most pronounced in 400-bed or larger hospitals in Shinjuku and Bunkyo wards. When we looked at spending levels for biosimilars (BSs), large hospitals with 600 beds or more showed lower levels than the national average. This study suggests that promoting the use of GDs in monetary terms and actively introducing BSs at large hospitals will likely contribute to further medical cost containment.

Key words : generic drugs, monetary terms, medical cost containment, Tokyo metropolitan area, biosimilars

要旨 : 本研究は、政府の後発医薬品使用促進目標に関連し、首都圏での後発医薬品の金額ベースでの使用率を分析した。2020年のデータに基づけば、後発医薬品の数量ベースでの使用率は全国平均78.2%であったが、金額ベースでは48.7%と低く、医療費抑制の余地が示された。特に東京都における病院では金額ベースの後発品使用率が低い傾向があり、新宿区・文京区の400床以上の病院で顕著だった。また、バイオシミラー（BS）の使用金額に焦点を当てると、600床以上の大病院では全国平均よりも低い結果が得られた。本研究から、後発医薬品の金額ベースでの使用促進と大病院でのBSの普及によって、さらなる医療費抑制に寄与できる可能性が示唆された。

キーワード : 後発医薬品、金額ベース、医療費抑制、首都圏、バイオシミラー

はじめに

我が国の医療費・薬剤費は年々増大し続けており、保険医療制度の崩壊危機が叫ばれるなか、限られた医療資源を有効活用し、医療保険制度を持続可能なものとするために、後発医薬品の使用促進事業が進められてきた。

政府は2023年度末までに後発医薬品の「数量シェア80%」以上という目標を掲げ、使用促進に

注力してきた。現在、その目標達成は時間の問題となっているものの、後発医薬品の使用促進によるさらなる医療費抑制は、極めて重要な課題である。

2023年7月に告知された第四期医療費適正化計画（2024～2029年度）¹⁾の見直しにおいて、後発医薬品に関しては、現時点の目標値「数量シェア80%」を達成していない都道府県は、当面の目標として「可能な限り早期に数量シェア80%の達成」を目指すこととする、と記載されている。また、バイオ後続品について、『「80%以上置き換わった成分数」が全体の60%以上』との新目標を追加することや、目標達成に向けて、例えば「保険者等による差額通知の実施の支援」「フォーミュラリに関する

* 〒100-6739 東京都千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースタワー 39階
TEL : 03-6810-0812 FAX : 03-5288-8692
E-mail : hashidume@jpmedri.co.jp